

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011.10.24

No.2013
No.13



出席率	会員49名中38名
先々週の出席率	84.44%
ゲスト	地区米山奨学委員長 新保清久様 米山奨学生 高 雲 さん
ヴィジター	三条北RCより 星野義男君
先週の メイクアップ	10/18 三条北RCへ 星野健司君 丸山徹夫君 永桶俊一君 西巻克郎君 野島廣一郎君 佐々木常行君 谷 晴夫君 坪井正康君 10/19 新潟南RCへ 馬場信彦君 10/19 三条RCへ 丸山徹夫君 野島廣一郎君 谷 晴夫君 10/20 地区R財団委員会へ 安達 裕君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
鈴木 圀彦

皆さん、こんにちは。

10月は「米山月間」です。米山奨学委員長の田中悌司さん、ご苦労様です。本日は、月間に際しまして米山奨学生・新潟大学 4 年の高雲さんよりお話いただきます。高雲さんの世話クラブは新潟西RCです。なお、ご同行下さいました 2560 地区米山奨学委員長 新保清久様、誠に有難うございました。よろしくお願い申し上げます。

また、北クラブ会長 星野義男さん、ようこそおいで下さいました。「日中友好の翼」に参加され、ご苦労様でした。

本日は『祇園祭』の後半をお話致します。全国に 70 以上ある祇園祭のうちの本家本元の京都の祇園祭についてです。

平安時代から 1200 年以上、日本の「文化の都」としてあり続け、形として表現し続けている一つが祇園祭と言われております。

歴史としましては平安時代、天変地異や疫病の流行は怨霊の祟りとされ、その怨霊を鎮めるため、時の朝廷 桓武天皇が 863 年（貞観 5 年）御霊会を行なったことが始まりです。平安京はもともと内陸の湿地であったために高温多湿の地域であったこと、建都による人口の集中、上下水道の不備などにより疫病（マラリア、天然痘、インフルエンザ、赤痢、麻疹等）が大流行し、特に暑い夏にまん延する流行病を封じる神「牛頭天王」を祀る八坂神社の祭礼としてなされました。平安時代に始まり、「町衆」と呼ばれる有力商工業者が力を持ち、室町時代に最も盛んになった祇園祭です。

□ 神幸祭（神輿渡御）・・・こちらが本来の神社の中心行事

夕刻より行われる「神輿渡御」は、朝の雅やかな山鉦巡行とは打って変り、

四つのテスト

一言行はこれに照らしてからー

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー [インド]

第2560地区ガバナー 石本隆太郎 [新潟]

第4分区AG 山田文雄 [見附]

会長 鈴木 圀彦

幹事 熊倉高志

S A A 吉井正孝

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

勇壮豪快で荒々しいのが特徴で、まさしく祇園祭のクライマックスと呼ぶにふさわしいものです。^{なか こ ざ みこし}中御座神輿・東御座神輿・西御座神輿の大神輿が3基、総勢 1,000 人以上の勇猛な男たちにより担ぎ揉まれて神輿が荒れ狂う様は圧巻です。

□京都祇園祭のハイライト「山鉾巡行」・・・重要有形民俗文化財で『動く美術館』と言われています。「山鉾」は現在 32 基あり、一つ一つに全部名前がついています。時間の関係でその中のいくつかをご紹介します。

芦刈山（あしかりやま）



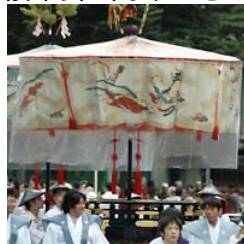
尾形光琳原図「燕子花図」（カキツバタズ）使用

油天神山（あぶらてんじんやま）



梅原龍三郎原図「朝陽図」を平成 2 年新調

綾傘鉾（あやかさぼこ）



人間国宝きものの染織家 森口華弘の友禅「四季の花」 華弘氏は少し前に亡くなられ、今は、息子の森口邦彦氏が活躍されています

岩戸山（いわとやま）



天岩戸（あまのいわと）を開いて天照大神の出現される日本神話 山鉾の代表格

菊水鉾（きくすいぼこ）



三輪晁勢筆の天井絵 年々装飾が充実し「昭和の鉾」としての偉容を示してきています 山鉾の代表格

北観音山（きたかんのんやま）



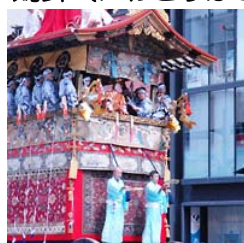
絢爛豪華な山鉾の代表格

月鉾（つきぼこ）



屋根裏の「金地彩色草花図」は天明 4（1784）年 円山応挙の筆 彫刻は左甚五郎の作 山鉾の中でも最高の山鉾

鶏鉾（にわとりぼこ）



中国故事から取った題材 絢爛豪華な山鉾の代表格 国の重要文化財に指定されています

南観音山（みなみかんのんやま）



絢爛豪華な山鉾の代表格

船鉾（ふなぼこ）



大きな船の形の山鉾に車輪が 4 個ついています

鯉山（こいやま）

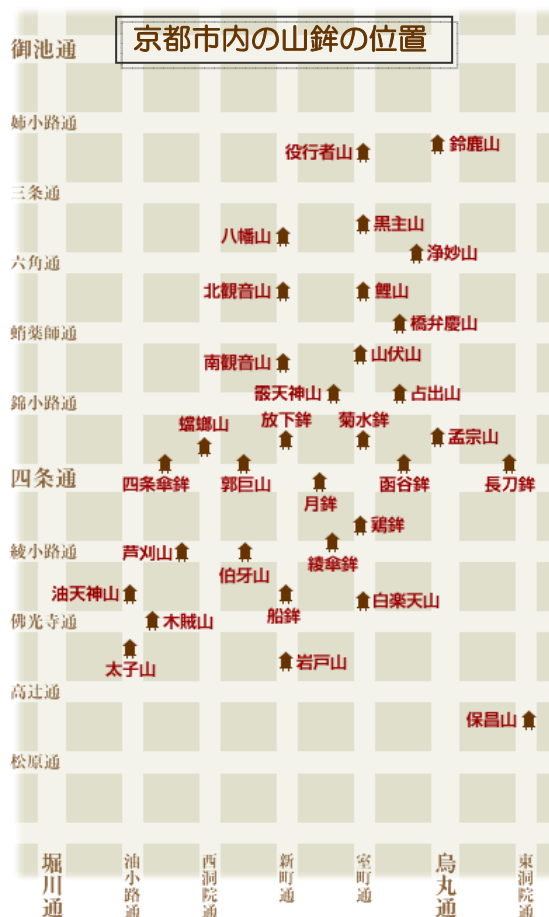


山の上に大きな鯉が跳躍しています 装飾には 16 世紀ベルギー ブラッセルの「織物」タペストリー「B・B」が使用されています 重要文化財に指定

長刀鉾（ながなたぼこ）



鉾先に大長刀を付けているのでこの名で呼ばれています 長刀は疫病邪悪を祓うもので、三条小鍛冶宗近の作が用いられていましたが、今は宝物として保存され、別なものが付いています この鉾は古来「くじ取らず」と言い毎年必ず巡行の先頭に立ち、生稚児（子供）の乗るのも今はこの鉾だけです



鉾の写真及び位置図につきましては京都観光情報 KYOTOdesign

ホームページ <http://kyoto-design.jp/special/gionmatsuri/> より



熊倉 高志 幹事

○石本ガバナー事務所より

①2013～14 年度ガバナーノミニ決定のお知らせ

山崎堅輔（やまざきけんすけ）氏 ・中条ロータリークラブ ・職業分類：機械工業

②11月ロータリーレートのお知らせ 11月1日より 現行と同じく 1ドル＝78円

○三条市特別支援教育研究協議会より「市内特別支援学級児童生徒『ウィンターフェスティバル』」ご案内

＜日時＞ 2011年12月2日（金） 9：30～11：30

＜会場＞ 三条市総合福祉センター 多目的ホール

※ 野中社会奉仕委員長出席予定

ようこそ 三条南ロータリークラブへ



子育て講演会「石川遼はこんな環境で育った」開催のご案内



三条北RC 星野義男会長

毎年行っております 子育てのための講演会、今年度はプロゴルファー石川遼選手の父上、石川勝美氏を講師にお招きして開催致します。どうぞ多くの皆様のご来場をお待ちしております。また、多くの方々へお呼びかけくださいますようお願い致します。

★講 師 石川勝美氏

★日 時 11月8日（火）

＜開場＞17：30 ＜開演＞18：30～

★会 場 ハミングプラザVIP グランドホール

☆入場無料

・・・入場整理券が必要です。ご希望の方は事務局まで



ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～10月24日 12,000円
今年度累計 338,000円～

三条北RC 星野君 社会奉仕事業の宣伝にまいりました。よろしくお願い致します。

鈴木（囿）君 10月は「米山月間」です。米山奨学生の中国の高雲さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

熊倉君 本日は「米山月間」です。新保様、高様ようこそいらっしゃいました。よろしくお願い致します。

吉井君 今月の15日、娘が東京で結婚式を挙げ、披露宴に米山奨学生のタキ君も出席してくれました。タキ君からも祝儀を頂戴し、恐縮しています。

田中君 今日は米山奨学生の高雲さんに卓話をお願いしております。高さん、よろしく。

佐藤（秀）君 地区米山奨学委員長 新保様、米山奨学生 高雲さん、今日のご苦勞様です。よろしくお願い致します。

荒澤君 本日、結婚記念日です。「満30年！」と出勤時に妻に大きな声で言われました。

滝口君、坪井君、銅冶君
BOXに協力いたします。



ちょっと早いご案内ですが... 忘年家族会★予告

親睦委員会からののお知らせとお願いです・・・ 忘年家族会を下記日程にて開催致します。皆様に大いに楽しんでいただけるよう、練りに練った企画を準備しております。是非・ぜひ 奥様と一緒にご出席くださいますよう委員会一同心よりお待ちしております。家に帰られましたら、カレンダーに大きな◎印と「南RC 忘年家族会」のご記入を！

日時 12月19日（月） 受付18：00 開宴 18：30～
会場 ハミングプラザ VIP （☎ 35-1143 ）

「不思議な縁」

米山奨学生

高 雲 さん

新潟大学 機械システム工学 4 年

国籍：中国

奨学期間：2010 年 4 月～2012 年 3 月

世話クラブ：新潟西ロータリークラブ

新潟

新宿



新潟と新宿、一見何の関係もない二つの地名であります。私にとって、第二人生——（ここでは日本に来る前と来た後を境目でいうと、日本に来た後は自分の第二人生だと思っています）は全てここから始まったのです。これをお聞きになった皆様はきっと不思議だと思うでしょうが、実に今思い出すと私自身でも不思議ではないし、よくそうやって異国である日本に来られたなあと感じました。

広い中国では 56 個の民族があり、少なくとも 56 個の方言があります。中国人同士はお互いにコミュニケーションをするのに標準語を使いますが、それ以外みんなそれぞれ自分の方言で生活するのが多いです。また、その方言というのは日本語の関西弁と関東弁のような差ではなく、英語と日本語の

差ぐらいです。只今皆様に見せた『新潟』と『新宿』は福建省の方言だと全く同じ発音で、そのせいか（今言くと、お陰でだと思います）6 年前に私に不思議な縁が訪れてきました。

当時まだ高校生であった私は母から大きな命令を出されてしまい、それは日本へ留学に行けということでした。日本に悪いイメージを持っていた私は日本が嫌い、行く気などありませんでした。また、当時の中国人が日本に留学するというのは殆ど名目で、大体みんながそれを利用して日本に滞在し、お金を稼ぐという目的でした。それを思った私はずっと高校生まで描いてきた将来の夢を放棄し、日本に来ることについて尚更反発しました。それで、高校では少し成績が良かったので、クラスの担任の先生や校長先生に頼み、母を説得してもらおうとしました。が、結局強い母にはだれも勝てなくて、泣きながらしょうがなく日本に出発する一日ほど前に実家に戻り、すでに準備してくれたスーツケースをひっぱり、日本に行くことにしました。母のことを絶対許さんと、（たとえ将来本当に母が思ったような大金持ちになったとしても）そう決めた私は、飛行機に乗る直前まで母に対して口を利きませんでした。しかし、さすがに一人で海外に行き、それに全く言語も通じないという不安に襲われたのか、母に初めて自分の旅立ち先を訪ねました。そこで、同発音のせいでずっと新潟を新宿だと思い込んでいた母が教えてくれたのは、これから行く先が新宿で、当時東京にいた叔母（母の妹）が近くの空港まで迎えにきてくれるということでした。そう言われた私も少し安心し、旅客機に乗り込み日本に来ました。確かに私は日本が嫌いでしたが、東京について、世界でも有名な大都市で高層ビルはもちろん、人もいっぱいいるということぐらいは知っていたし、学校でも教わっていたのですが、新潟空港に着いたとたんなんと違和感を持ちました。東京であればせめて国際空港は中国の上海国際空港より大きいはずなのに、小さくて人もガラガラでした。何だ、東京なんかたいしたところでないと思いながら、叔母が迎えに来るのを待ちました。けれども、迎えに来たのは叔母ではなく、日本語専門学校の先生でした。「ありゃ、おかしいなあ」と思いながら、英語で聞きましたが、通じませんでした。それで、無理やり車にひっぱり込まれて、学校の寮まで送ってもらいました。

一方、東京の叔母も成田空港で何時間も待ち、あまりにも変だなと思い、空港の案内に訪ね、私のことを調べてくれたそうです。そこで、空港の係員から叔母に教えられたのは、確かに高雲という中国人は日本に入国したばかりでしたが、新宿ではなく、新潟だったということでした。そう聞いた叔母も、新潟という地名は初耳で、「成田空港から近いでしょう？今からすぐバスで迎えに行くわ」とその係員に言ったそうですが、係員から「新潟に行きたかったら、バスだと 5 時間ほどかかるし、予約せんと行けないよ。また一番早い新幹線だとしても 2 時間ぐらいかかりますよ。」と教えてもらったそうです。それを聞いた叔母もびっくりしたそうで、結局当日は新潟に来るのをやめて、いろいろと調べた上、一週間後新潟に会いに来ました。叔母に会ってから、私も初めて自分のきた場所が『新潟』という名前とわかりました。

ところが、日本が嫌いだった私は自分の目標を失い、日本語を勉強するどころか、学校に行くことすら嫌いでした。暗い気持ちで一カ月が過ぎたころ、思いがけぬ交通事故に遭いました。親指や鎖骨などを折ってしまい、頭も強く打ってしまいました。これで人生は終わりだろうと思っていたのですが、逆にその事故のおかげで、私はある日本人の叔母さんと出会えました。そして、日本人が嫌いだった私は日本人に助けられ、退院後またその叔母さんの家で 2 年ほどホームステイしました。この大きな展開というか、チャンスというかのおかげで、私は中国から

持ってきた日本また日本人に対する先入観を大きく変え、また自分の考え方や価値観も少しずつ変えました。そのうち、再び新たな夢を持ち、この日本、新潟から着実に成長していきたいと新潟大学を目指し日本語をはじめ、日本文化などを学び始めました。

私にとって、その日本人の叔母さん（ホストファミリー）は第二の母親のような存在です。彼女がいなければ、今の私もいないと思います。

大学に入り、一人暮らしを始め、大学生活を楽しみながら、週末や休みの時に生活費ぐらいのアルバイトをしました。しかし、3年生になったその年、学費など経済面で大きく支援してくれていた東京にいた叔母は中国に帰り、日本に戻って来ないことになりました。中国の親からはあまり仕送りがなかったため、叔母がいなくて本当に心細く感じました。そこで、助けてくれたのがロータリー米山奨学財団でした。実は私はロータリー米山奨学金の合格通知が届いた一週間ほど前に、佐野財団からも奨学金の合格通知をいただきました。どちらにするかと悩みましたが、なぜかわからないけれどもロータリー米山奨学生になろうと決めました。ロータリーについて全く何も知らなかった私は、クラブの皆様とうまく交流していけるかどうかに不安を感じました。ホストファミリーにも相談にのってもらったのですが、彼女の話によるとロータリークラブにいらしているロータリアン達は普通の社会人ではなく、身分が高い人ばかりだそうです。それを聞いた私は尚更緊張感を抱き、西クラブの第一回目の例会出席に連絡なしで欠席してしまいました。その時、金田お父さんを始め、クラブの皆様は心配で学校の国際館(留学生の世話を担当する係)まで連絡し、安否などを聞いてくださいました。本当に今でも申し訳なく思っています。その後、特に事情がなければ、例会に出席するようにしました。(だとしても、いつも授業などの関係で5分か10分ほど遅刻してしまいます。)それでも、金田お父さんを始め、西クラブの他のロータリアン達は微笑で私を迎えてくださり、温かく声をかけてくださいます。また、毎月第一週目の例会以外にも、野球の始球式やロータリークラブの特別例会などに誘ってくださいます。また、つい最近終わった11回目ライオン研修会のような地域イベントにも誘ってくださり、地域の日本人の若者達との触れ合いや共同作業ができ、友達が増えることはもちろん、たくさんの刺激もいただきました。私はロータリー米山奨学生となってからもう一年半経ちました。振り替えてみると、本当に普通の大学生が思うだにできなかったたくさんの社会体験ができ、充実した留学生活を送ってきました。

私にとって、もちろんロータリー米山奨学金をいただき、経済面においてはとても助かっています。それより最も良かったのは、米山奨学生となってから、今社会で活動していらっしゃるたくさんのロータリアン達と出会うことです。皆様との交流などを通し、私に大きな自信と困難を乗り越える力をくださいました。これは私にとって人生の宝でもあり、将来少しでも生かしていきたいと思っています。ありがとう、ロータリー！ありがとう、新潟地区のロータリアン達！

最後に、日本人が嫌いだった私は日本人から数えきれないほどお世話になり、また新潟を新宿だと思い込んで来ましたが、この新潟で過去の私を変えることができ、また6年前と比べ大きく成長できたと感じました。来年の春から本当の新宿というか、東京に行く予定となっていますが、その時またこのようなたくさんの出会いができればいいなあと祈っています。

Thank you so much Niigata, and thank you so much Japanese!

I love Niigata so much! I love Rotary so much!

ご清聴ありがとうございました。

「米山月間にあたり」

国際ロータリー第2560地区

米山奨学委員長 新保 清久様(新潟万代RC)



貴重なお時間を「米山奨学事業」のために設けていただき有難うございます。お手元の豆辞典に事業内容が詳しく書かれておりますので是非ご覧ください。

米山奨学会は、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給していますが、これまでに支援してきた奨学生数は、累計で16,389人(2011年7月現在)。その出身国は、世界120の国と地域に及びます。

2560地区では現在までに320名の奨学生を受け入れております。今年度は24名です。約80名のロータリアンが1人の奨学生を受け持っていることになります。

米山奨学生は何故中国の学生が多いのかとよく質問されますが、日本に留学されている中国の学生は大変に真面目な方が多く、必死に学ぼうと頑張っておられます。また、本日お話をさせていただきました奨学生の高雲さんも何度となく「日本が、日本人が嫌いだった」と言っておりましたが、幼いころからの教育のせいでしょうか、日本に、日本人に偏見を持ち、嫌っている方が多いことは否めない事実です。日本人への偏見を無くしてもらうためにも、一所懸命頑張っている学生を応援するためにも中国の方が奨学生として多く選ばれている理由の一つであります。

震災復興にむけて日本のロータリー全体が尽力する中、昨年度の寄付は予算 13 億円を達成できたとのことであります。しかしながらこの予算（寄付収入 13 億円）は「奨学資金特別積立財産」を取り崩すことを前提に策定した赤字予算であり、年間 800 名の奨学支援に必要な経費 14 億 5 千万円を賄うことはできておりません。

日本のロータリーが世界に誇る奨学事業であり、民間最大の奨学生支援を続けて参りました。しかし、寄付金の低迷により年間 800 名の奨学生を維持することが難しい状況となっており、緊急の寄付推進が必要となっております。どうぞ、ご理解、ご支援をお願い申し上げる次第です。

米山月間にあたり



ガバナー月信
2011.10.01

Vol. **4**

米山奨学委員会委員長新保清久（新潟万代RC）

東京ロータリークラブが1954年に最初の奨学生を受け入れてから57年、1967年に財団法人として認可されて、44年を迎えています。これまでに120の国と地域から16,389名の奨学生を支援してきました。規模と実績ともに民間で最大の奨学団体となっています。

第2560地区の2010-2011年度の寄付金は、合計では37,059,016円。個人の平均寄付額は、17,981円でした。目標金額の18,000円にはほんの僅かに足りませんでしたが、個人平均寄付額が30,000円を越えたクラブや、周年行事で多額の特別寄付をいただいたクラブもあり皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

2011-2012 年度の個人平均寄付額の目標は、前年と同額の18,000円です。

長引く不況と東日本大震災の影響もあり、寄付金は極めて厳しいものと考えていますが、奨学金はロータリアンからの寄付を財源としています。寄付金の減少はただちに奨学金不足となりますので何卒、前年以上の寄付のご協力をお願い申し上げます。

さて、米山奨学事業は、寄付増進委員会、奨学生・学友委員会、奨学生選考委員会の3委員会に分かれてほぼ年間を通して活動しています。

7月から始まるロータリー年度と4月からの学校年度がずれているため、委員会活動は、毎年、委員が変わりながらも事業の継続性を大事にして活動しています。

石本年度の受入奨学生は、9カ国、10大学の24名です。

年度最初の事業として、8月に佐渡へ奨学生・カウンセラーの親睦交流旅行を行いました。佐渡南クラブからの献身的なご協力をいただき、島内の観光や無名異焼きの実演、さらには大変珍しい文弥人形も見学できて、ゆっくりと佐渡を堪能してきました。

9月には、新潟市内で、奨学生を推薦していただく県内10大学の担当者にお集まりいただき、ロータリーや米山奨学事業、採用方針等の広報・説明会を開催しました。

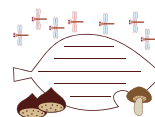
今後の委員会活動としては、12月の学友総会、来年1月の奨学生選考会、3月の卒業式、5月の次年度奨学生の歓迎会となります。その間に日本古来の文化（茶道、華道、和楽器演奏等）の体験会を予定しています。

寄付を集めて、優秀な奨学生を選考して、奨学金だけでなくカウンセラー制度で面倒をみるという独自の米山記念奨学事業をご理解賜り、今後とも変らぬご協力の程お願い申し上げます。



次週例会 11月14日 クラブ休会

次々週例会 11月21日 通常例会「R財団月間」地区R財団委員長 中條 耕二様



表紙について

佐藤栄祐君 [1939（昭和14）年 4月2日生]

○4月2日・この日何の日？

- ・週刊誌の日：1922年のこの日、「週刊朝日」と「サンデー毎日」が創刊された
- ・五百円札発行記念日：1951年のこの日岩倉具視の肖像の500円札が初登場

○5月6日・この日誕生は？

ハンス・クリスチャン・アンデルセン（デンマーク童話作家 1805年）

三條南ロータリークラブ週報

2011.10.24

No.2013 No.13